

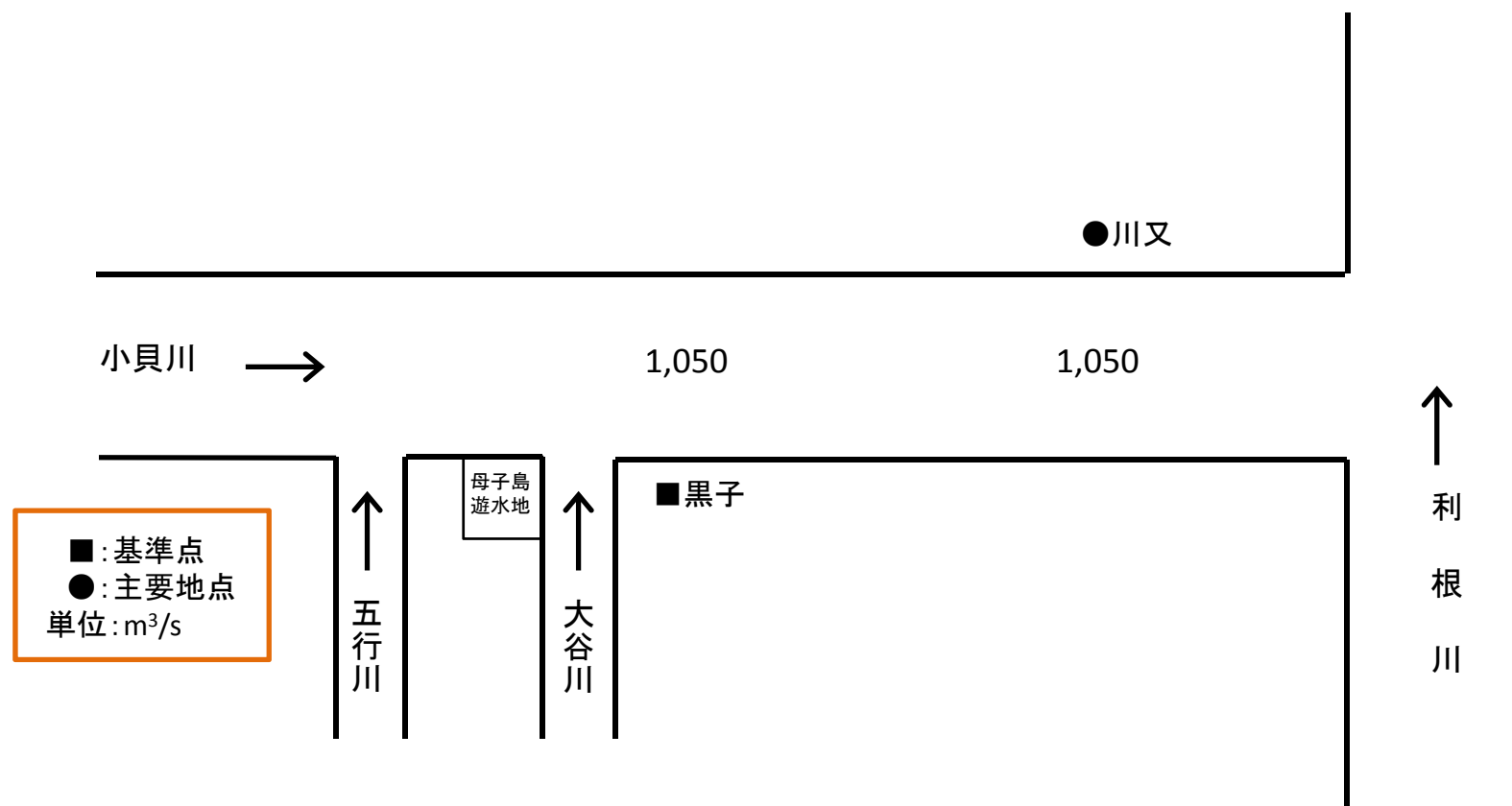
小貝川河川整備計画の目標(案)について

平成31年3月28日

国土交通省 関東地方整備局

小貝川河川整備計画の目標(案)について

- 洪水に対しては、栃木県と茨城県にまたがり、常総市や筑西市といった都市を抱えていると共に、常磐自動車道など重要な基幹交通が整備されており、万一小貝川が決壊すると、流域内だけでなく流域外にも多大な影響を与えるおそれがある。
- 小貝川において、目指す安全の水準は、全国の他の同等な河川の水準を踏まえ年超過確率概ね1/30~1/40^{※1}とし、その水準に相当する洪水による河川整備計画目標流量を基準地点黒子において1,100 m³/s ^{※2}とし、このうち、河道整備において対象とする流量は1,050 m³/sとして、洪水による災害の発生防止又は軽減を図る。



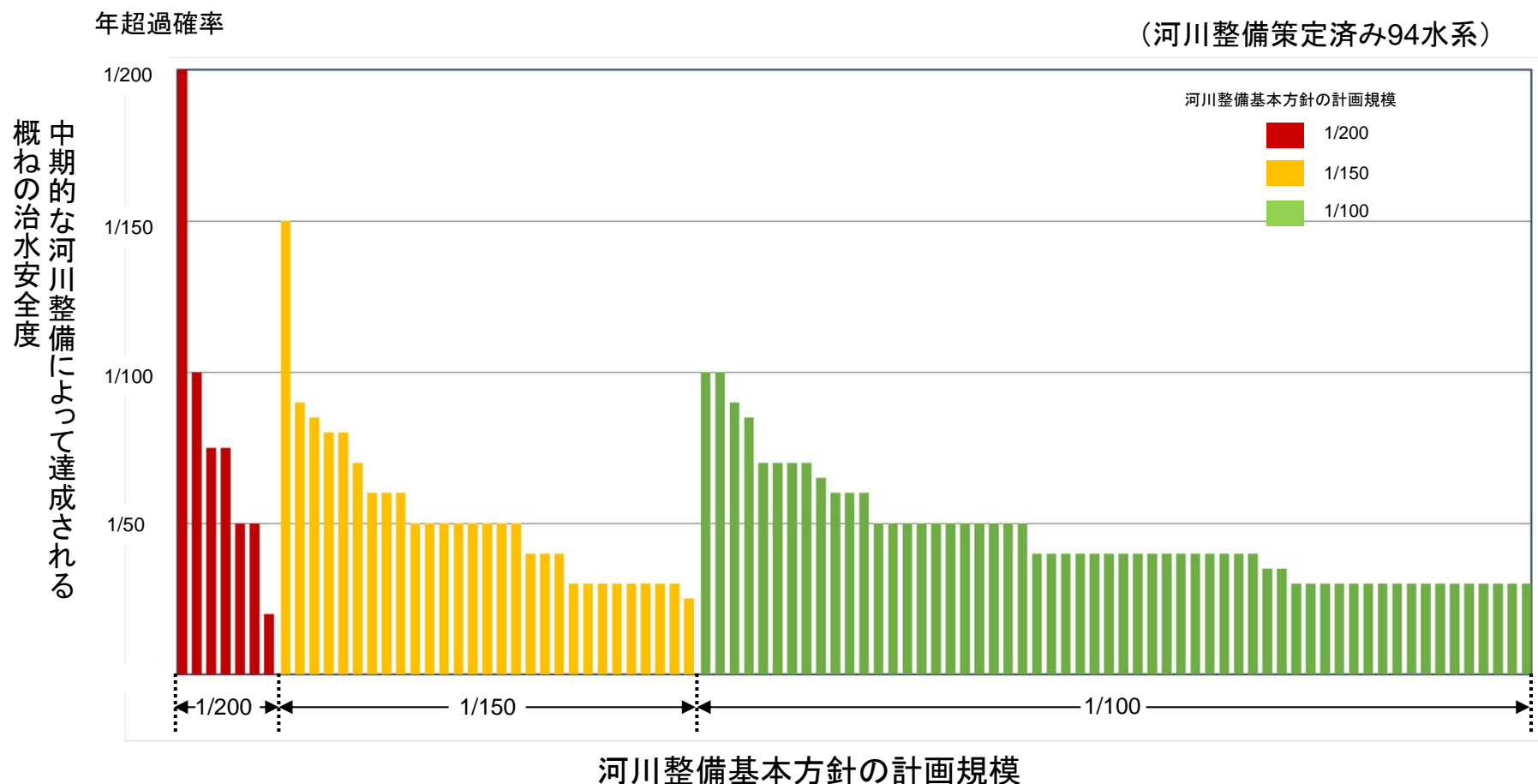
※1. 年超過確率とは毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率を示しています。

※2. 洪水調節施設による調節がない場合の流量

小貝川河川整備計画の目標(案)について<参考資料>

中期的な河川整備によって達成される治水安全度

- 河川整備基本方針の計画規模1/100の河川において、国管理区間の河川整備計画については、20~30年間の中期的な河川整備によって達成される治水安全度は多くの河川で概ね1/30~1/40である。



※主要な基準地点における概ねの治水安全度を示している。
 ※整備途上である場合、上流が氾濫することで下流の治水安全度が確保されている場合もある。

第1回大規模氾濫に対する減災のための治水対策検討
 小委員会(H27.10.30)【資料4】より抜粋